

BAUTEC・ドイツ建築視察報告

エ 程 2月23日(木)出発、フランクフルト経由ベルリンへ

24日(金)終日 BAUTEC2006視察

25日(土)午前:ベルリン郊外の入居中住宅視察、午後:ベルリン近郊住宅展示場視察

26日(日)午前:空路フランクフルトへ 午後:フランクフルト郊外住宅展示場視察

27日(月)午前:市エネルギー局でエコロジーハウスについてレクチャーと現場視察

28日(火)午前:フランクフルト郊外の入居中住宅視察、DIYショップ視察

午後:フランクフルト市内建築視察後、空路帰国へ

3月 1日(水)夕刻:成田到着、空路新千歳空港へ、着後、解散

参加者 芦野隆治(芦野組)、 芦野勲代子(芦野組)、 今北光春(北美建)、 宇美英俊(STV興発)
 岡本 修(岡本建設)、 金谷純子(キクザワ)、 金谷ちな(キクザワ)、 神谷雅章(神谷建設)
 北島寿一(STV興発)、 高倉俊明(住環境アドバイザー)、 高野研二(プラスター高野)
 高野政子(プラスター高野)、 高橋俊明(ハウジングシステム)、 竹市真巳(TRAD)
 宮崎光由(宮崎組)、 村田繁治(アシスト企画)、 吉田 洋(吉田建設社)、 脇坂祐一郎(北栄建設)
 升元 健(ノーザンプランニング)

はじめに

昨年の11月、アース21関東研修における埼玉県川口市の中島ホーム視察で、ドイツ製木質繊維断熱材の驚異的な性能と環境保護先進国ドイツを改めて確認した。それが契機となって、時あたかも日本におけるドイツ事業年にあたるこの春、ベルリンで開催されるBAUTECとドイツのエコロジーハウスについて研修しようとの機運が盛り上がり今回の視察となった。

2月24日

BAUTEC視察(2/21~2/25 Messe Berlin)

ドイツは、国際競争力に優れた工業製品を生み出す国家の顔の他、古くからヨーロッパにおける地の利を活かしたメッセ(見本市)の国でもある。15州からなる共和国の各州の首府や中核都市には国際的なメッセ会場がある。今回のBAUTEC会場は首都ベルリンの「MESSE BERLIN」である。会場は、旧西ベルリン側にあり、次の8分野が12会場に分かれて展示されていた。

- ① シーリング、外壁など
- ② 屋根
- ③ 乾燥した構造(床、土台など)
- ④ サニタリー、暖房
- ⑤ 換気、ヒートポンプ、低エネルギー住宅など
- ⑥ ソーラーエネルギー
- ⑦ 建築IT技術
- ⑧ 木造(浴室、フレームワーク、窓、床、サウナなど)

以下、気づかった主要なブースについて紹介する。

